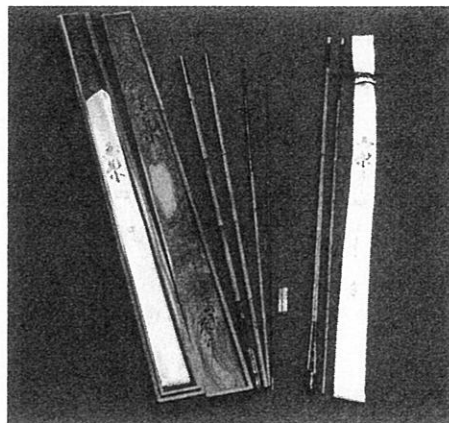


第48回「日本キワニス文化賞」受賞者

じょう 城 じゅんいち 純一氏（製竿師）

1925年2月27日生まれ（87歳） 福岡県出身
和歌山県橋本市市脇3丁目7番7号



【プロフィール】

昭和12年に製竿師「源竿師（げんかんし）」に入門し、へら竿づくりの道に入った。昭和21年に独立するとともに、「魚集（ぎょしゅう）」を名乗る。その後、独自の技術による良質な竿の開発と後進の指導に尽力する。

技術的には火入れの工程に「強火焼き入れ工法」を取り入れ、竹のしなやかさと強度という相反する特性をともに高めることに成功した。グリップに籐（とう）のツルを巻き付けて漆を塗り重ねる「渦巻き握り」を考案するなど意匠にも工夫を凝らし、紀州へら竿を全国的なブランドとして高めた。

へらブナ釣りは明治初期、琵琶湖のへらブナをため池などに移入して始められ、竿にする素材として和歌山県北東部に多く自生する「高野竹」が最も適していたことから、和歌山県橋本市付近で製造が盛んとなった。近年は城氏のもとに韓国や台湾、中国などからの注文も相次ぎ、世界的な名品として注目されている。

【略 歴】

昭和21年	「魚集（ぎょしゅう）」を名乗る。
昭和59年	和歌山県技能賞を受賞
平成13年度	和歌山県名匠表彰
平成23年度	現代の名工（厚生労働省）表彰